

# THE CITY OF FILM TAKASAKI

『家族のレシピ』公開記念

## 映画のまち 高崎展

2019.3.17<sup>SUN</sup> - 4.7<sup>SUN</sup>

10:00 - 18:00

最終日は17:00

高崎シティギャラリー

〒370-0829 群馬県高崎市高松町35-1 tel:027-328-5050

主催：高崎映画祭委員会 共催：公益財団法人 高崎財団 協力：高崎音楽祭委員会、ラジオ高崎、高崎アートインキュベーション推進会議

後援：高崎市、シンガポール政府観光局

お問い合わせ：高崎映画祭事務局 〒370-0815 群馬県高崎市柳川町31 高崎電気館内 tel:027-388-9649

公益財団法人 高崎財団 〒370-0829 群馬県高崎市高松町35-1 tel:027-321-1213

# 映画のまち高崎展

高崎は市民が映画への情熱を燃やし続けてきた「映画の街」です。毎春に開催される高崎映画祭は今年で33回目を迎え、国内屈指の開催規模となっています。授賞式には多くの監督や俳優が集い、選りすぐりの作品上映には遠方からも映画ファンが駆けつけます。「高崎市民は映画というものが良くわかっている、見る目が肥えている」と映画界から評価を受けています。

近年では、映画のロケ地やエキストラを提供する高崎フィルムコミッションの活動も活発になっています。

本展覧会では、高崎が国際的な存在感を示すことができた映画『家族のレシピ』の公開を記念し、巨匠エリック・クー監督と女優ジネット・アウの心をとらえた高崎の映画文化、都市文化を紹介します。

## 高崎映画祭 33回の歴史 〈第3、4、5展示室〉

33年の歴史をリーフレットやパンフ・ポスター、パネル、映像などから振り返ります。

展示内容／授賞式や歴史の映像、電気館やシネマテークの映像、30回記念使用映像など。全33回リーフレット、全33回パンフ、ポスター。

## 『家族のレシピ』レスリー・キー写真展 〈第1展示室〉

映画「家族のレシピ」の撮影風景など写真展示、ベルリンなどでの上映時に製作されたポスターの展示。また、衣装や台本などの小道具も展示します。「家族のレシピ」のメイキング映像や斎藤工による動画など。

展示内容／レスリー・キー撮影写真約80点、カメラ、リュック、衣装、劇中使用のスマホ、暖簾・看板などの小道具。メイキング映像、各国のキービジュアル展示。

(日本、フランス、シンガポール他)

## 高崎FC写真展 〈第6展示室〉

高崎フィルムコミッションで高崎で撮影された作品の撮影風景写真などの展示からその活動を振り返ります。

台本、パンフ、チラシ、サイン色紙、記念品、ポスター、パネルなど約120点

## 高崎FCによる映画上映 〈予備室〉

映画祭参加監督の映像、高崎で撮影した作品また高崎に関連する映像を上映します。

## 春の高崎アートプロジェクト 〈第2展示室〉

「映画」においての普遍的なテーマ(「恋愛」など)や映画において必要不可欠なものから作家が受けたインスピレーションによる作品の展示。(アートプロジェクト高崎出品作家による)

出展作家:タムラサトル カ石咲 他

会場

高崎シティギャラリー  
〒370-0829 群馬県高崎市高松町35-1 tel:027-328-5050 / fax:027-328-3191  
JR高崎駅西口から徒歩10分

お問い合わせ

高崎映画祭事務局  
〒370-0815 群馬県高崎市柳川町31 高崎電気館内 tel:027-388-9649  
公益財団法人 高崎財団  
〒370-0829 群馬県高崎市高松町35-1 tel:027-321-1213 / fax:027-328-1229



第32回 高崎映画祭



『家族のレシピ』



『家族のレシピ』撮影風景

映画をとおして高崎を世界に発信している『家族のレシピ』を特別上映します。

### 高崎映画祭

『家族のレシピ』特別上映

4月6日(土) 16:40~18:09

高崎シティギャラリー コアホール

《前売券》1,100円

《当日券》一般 1,300円 高校生以下・60歳以上 1,100円

監督:エリック・クー

出演:斎藤工/ジネット・アウ/伊原剛志/松田聖子

2018年/シンガポール=日本=フランス/1時間29分

真人は群馬県高崎市で父・和男、叔父・明男と共にラーメン屋を営んでいた。ある日父が突然倒れ帰らぬ人に。父の遺品から二十数年前に亡くなった母・メイリアンの日記を見つけた真人は、母の故郷シンガポールへと向かう。

様々な困難も悲しみも、一杯の温かなスープが包み込む。心に美味しく美しい逸作である。

